

前略 先日は私のヒロシマ行きの問題で、誠に時宜を得た好意ある介入を敢えてして頂いて大変助かりました。お陰で困惑していた問題がスッキリしました。

今日は2件報告します。第1はその後の私の健康状態について、第2はPugwashの準備状態についての私見です。

まずその後の私の健康ですが、夏以来の体調の崩れは一向に回復しないままで、11月の末に今度は腎臓—正確には尿管—結石で一晩唸った後、市内の病院に1週間入院しました。退院して1週間目ですが、前の体調の崩れがあるので体力が回復せず、疲れ易く寝たり起きたりの毎日です。体重も一時50kgを割りそうに成りました。前立腺もやや不調でこれは12日(月)に腎臓の超音波検査を受けるのでこの時良く相談してみます。

以上のような現状で来年は半年位掛けて徐々に体力回復に努める必要があります。短期の回復は望み薄です。老齢化の重みをつくづく感じています。そこで東洋医学の助けが要りそうで、漢方医薬について適当な時に相談に乗って下さい。お願いします。

第2の項目とも関連しますが、伏見さんと小沼さんに手紙を書いて、本年末か来春草々にパ(グウォシュ)会議の出納責任者(名目的な経理委員会の委員長)の辞任を申し出る予定です。期間も重なりとても現状ではこれをやり遂げる健康上の自信がありません。

さて第2のパ会議の準備状況についての私見です。

- 1) まず募金委員会ですがご存知の様にもう4ヶ月遅れてまだ未発足と思います。予定委員候補が全部揃わなくとも発足させることを勧めましたが、十月末の時点で了解済みの委員は伏見さん以外は広島市の4学長(広島大、市大、女学院大、修道大)のみで地方に偏っていて適切でない、出来れば向坊、東京女子大の隅谷、上智大の川田、原安協の田島、学術会議の伊藤などの各氏を希望している様でした。その後この問題がどう成ったかは私には不明です。とにかく誰が見ても新春と共に早急な発足が必要です。
- 2) 次に組織委にまともな事務局長が必要です。これを委員長が海外出張の合間にやっているのですから、進捗する筈が在りません。見るに見兼ねて私が十月末の広島行きの予定の前に委員長、副委員長、私、菅沼さんの4人で開いたのが初めての事務局対策会議ですが、多分以来同種の会議は開かれていないと思います。広島では広大平和センターの松尾さんが可なり熱心に現地の取り纏めに当たっていると委員長は言いますが、東京が曖昧では現地も対応が困難と思います。副委員長の話では候補が見付かりそうだと聞きましたが、とにかく今からではこの仕事も容易では在りません。
- 3) 次ぎは小沼さんの最大の欠陥で、海外出張が多すぎることで、私は十月に彼にこれから来年8月半ばまでの海外出張の全予定表を出してくれと依頼しましたが、話はそのまま何も出てきていない様です。9月末にも広島の松尾さんから直接電話で、小沼さんが留守中の問題については立花に相談せよ、とのことで電話したと言うのですが、

私は彼が海外に居ることも知らず、用件も私の殆ど知らぬことの相談でした。同種の件では伏見さんも可なり苦い経験をお持ちの筈です。彼は国際物理学連合とか、ユネスコ会議とか、名前も良く覚え切れないで諸会議で毎月、時に半月も国内不在です。11月は13日から25日まで不在、12月も6日から15日までロンドンとパリによって最後にジュネーブで来年のパ会議の打ち合わせに出て帰りますが、その後一月は日本に居るそうで、この間に出来るだけ仕事を片付けると言っている様ですが、この年末年始に事が進捗するのはとても難しいと思います。そして1月半ばにはまた出掛ける模様です。

私は来年のパ会議をまともに成功させるためには、是非誰かが彼の来年8月までの海外予定を検討して、出来るだけ取り消す必要があると思います。彼が病気になったと仮定すれば取り消しは可能です。誰か代理を出す方法も在るでしょう。

これは余り言いたく無い事ですが、私は彼の今後の仕事の内容についての判断の甘さにとっても追従して行けないと思っています。確かにパ会議だけが核を無くす世界の運動では在りませんが、しかし広島で原爆以来50年目に開かれる科学者の国際会議を立派に成功させることは日本の知識人の重要な国際的責任だと思います。パ会議の組織委員長と海外の国際任務と両者を満たすのは欲張りすぎて居て、誰でも不可能です。その点で核を無くすと言う人類の悲願について彼がどう考えているのか、私には理解できません。同じく国内の会議準備の渋滞をそのままにして、海外に出張する彼の判断力にも全く同調出来ません。今の健康状態では私には辞任以外に具体的な方法が在りませんが。

私は彼が海外出張を大幅に切ってパ会議に専心してくれることを期待しています。それでも残されているのは実質半年です。相当苦しい日程です。私の辞任は飽くまでも健康上の理由ですが、以上の要素も裏の理由としてかなりの比重を占めます。

更に言いますと事務局を手伝ってくれるリンクスの菅沼さんですが、1週間のうち、2日は理化学研の勤務が在り、さらに一日雑誌社に取られ、残りの2日でリンクスの5つか6つの仕事をこなしているのです、パ会議の事務局としても余り期待でき無いのが実情です。この点伏見さんも細かい点はご存知無いのでしょうか。いま彼はリンクスからは殆ど収入が無いはずですから。

以上2件報告しました。例のNPT研究会は服部さんが一生懸命取り纏めに精出してくれています。私は今の所休む事が多くなりました。全体の意見発表は、「要約」と「解説」に別れていますが、参考のため私の分担の「核兵器の違法性」の原稿を同封します。もう少し時間を下さい。今年はこれで会う機会が無いかも知れませんが、良いお年をお迎え下さい。奥様に宜しく。 来年はいよいよNPT延長会議の年です。 ではお元気で。

所沢

立花 昭